

29年度

都市交流だより



問 塩尻市都市交流協会事務局(秘書広報課広報広聴係内)
☎0263②0280 内線1315

ごあいさつ

平成28年12月に発生した糸魚川市の大火は未だ記憶に鮮明に残るところですが、29年8月には「糸魚川市復興まちづくり計画」が策定されるなど、着実に復興への道のりを歩んでいることを聞くにつけて、そのご努力に敬意を払うとともに、一日も早い本格的な復興を願うばかりです。

さて、「都市交流協会」は、米国ミシヤワカ市と姉妹都市提携した翌年の昭和48年に、「都市提携協会」として発足して以来、国内外の姉妹都市との間で、行政の枠を超え、幅広い都市間交流を進めてま

いりました。

29年度は、ミシヤワカ市との姉妹都市提携から45周年の節目の年であり、今後も50年、60年と未長く交流が続いていくことを期待しています。国内の姉妹都市との間では、市民号や町民号による相互訪問、物産展における特産品のPRなど、さまざまな交流活動を活発に行いました。

これからも、絆を大切に、文化や地域交流の推進を図ってまいりますので、市民の皆さんのご参加とご協力をお願いします。

塩尻市都市交流協会会長 小口 利幸

米国インディアナ州 ミシヤワカ市

姉妹都市提携 昭和47年6月5日

■姉妹都市交流展「ミシヤワカ市」

姉妹都市提携45周年を記念して、2月に市立図書館本館で企画展を開催しました。28年にミシヤワカ市を訪問した青少年のリポートの他、「ミシヤワカ市には山がない」「平均気温は9度」などミシヤワカ市に関するトリビアを集めたコーナーも設けられ、ミシヤワカ市を身近に感じられる展示になりました。



静岡県

南伊豆町

姉妹都市提携 昭和53年7月20日

■イベントで塩尻の特産品をPR

10月14日に南伊豆町で開催された「フェスタ南伊豆」に塩尻市のブースを出店しました。毎年、農業学習塾の皆さんやくらしの工芸館の職員、市の職員が訪問して特産品を販売しています。ブースは大勢のお客さんにぎわい、木曾漆器やワイン、果物や野菜などの塩尻の特産品をPRする良い機会になりました。



新潟県

糸魚川市

姉妹都市提携 平成17年7月29日
(糸魚川市合併前 昭和59年8月25日)



■糸魚川市民がブドウとワインを楽しむ

10月2日に糸魚川市民132人が来塩。ブドウ棚の下でワインを飲み比べながらジンギスカンを味わい、食後にはブドウ狩りやナシ狩りを楽しみました。塩尻の秋を満喫できると大変好評で、毎年訪れているというリピーターの姿もありました。秋の恒例イベントとして糸魚川市民に定着しているようです。



■糸魚川市の復興を目の当たりに

10月29日に塩尻市民16人が糸魚川市を訪問しました。この日は豊漁大感謝祭が行われており、参加者は新鮮な海の幸をたくさん買い求めていました。

また、車窓からではありませんが、糸魚川市の職員に大火の現場の復興の様子を案内していただき、貴重なお話を伺うことができました。



静岡県

袋井市

姉妹都市提携 平成22年10月23日
(友好都市証受理 平成17年6月25日)



■袋井市民が檜川の文化に親しむ

旧檜川村との友好関係が元で、本市との姉妹都市提携を結んだ袋井市。6月4日の木曾漆器祭・奈良井宿場祭の開催に合わせて袋井市民31人が来塩しました。参加者は、奈良井宿を歩きながらお茶壺道中の行列を見物したり、木曾漆器館で漆塗りの体験をしたりと、本市の歴史文化を堪能していました。



■袋井市の文化に触れ、味覚を味わう

10月22日に塩尻市民22人が袋井市を訪問。お茶席体験や、600年の歴史を持つ秋葉総本殿可睡齋でいただく精進料理など、袋井市の魅力満載のコースを巡りました。

特産のクラウンメロンの温室見学と試食もあり、手間暇かけて育てられた甘味の強いメロンをぜひたくに味わい尽くしました。



イーライフ フェア しおじり e-Life Fair

南伊豆町、糸魚川市、袋井市は、毎年各市町の特産品を携えて、本市のイベント「しおじり e-Life Fair」に出店いただいています。南伊豆町の伊勢エビ、糸魚川市の干物、袋井市のお茶など、現地を訪れなければなかなか手に入らない特産品を購入できるチャンス。今年は9月に開催予定ですので、ぜひ会場にお越しください。

